

# やまばと通信

多摩市立図書館 情報誌 180号

冬支度 は  
図書館で!!

## 主な記事

1P 「よみきかせ講座 報告」  
「本館夜間開館について」  
アンケート報告  
「シニアコーナーリニューアル」

3P 「読むとあたたかくなる本」  
4P 「ボランティアさんに  
インタビュー!」  
「子どもと一緒にわらべうた」



大松台小学校・図工専科の富樫先生から、素敵なイラストをいただきました!

原画はカラーで、更に素敵です。年末まで本館入口に飾ります。是非ご覧ください!

## 3回連続講座

### 「乳幼児へのよみきかせ」

を開催しました!

多摩市立図書館(本館)で、3回連続講座「乳幼児へのよみきかせ」が行われました。各地の講演会で引っぱりだこの人気講師、こうさぎ文庫の石川道子先生をお迎えし、「わらべうた」や「となえうた」を中心にお話をいただきました。この講座は、お話をしながら行っているボランティアさんを含む約40名の市民の方だけでなく、図書館児童サ―ビス担当者も受講しました。教えて頂いたわらべうたは、「おはなし会」などで小さいお子さんをお持ちの皆さんにお伝えしてゆきたいと思います。ぜひ図書館のおはなし会にもお越しください。

石川先生曰く、子どもたちは、お母さんが笑顔で歌いかけ、触れてくれることが嬉しいのだとおっしゃっていました。

子どもは繰り返し大好きです。お子さんと楽しく遊べ、触れ合えるわらべうた・となえうたを、どうぞご家庭で繰り返し楽しんでください。

(4Pに簡単ならべうたをご紹介します。)

多摩市立図書館

〒206-0033 多摩市落合2-29

(電話)042-373-7955

(FAX)042-375-9459

図書館ホームページアドレス <http://www.library.tama.tokyo.jp/>

携帯電話アドレス

<http://www.library.tama.tokyo.jp/i/>

2009年 11月 発行



「協力ありがとうございます！」

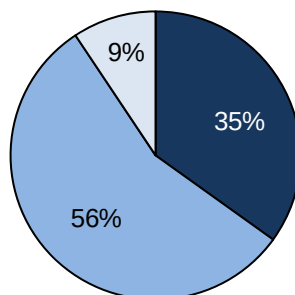
## 「本館“試行延長”アンケート」

この夏本館では、平日の開館時間を1時間延長し、午後7時まで開館しました。

この件について全館でアンケートを実施したところ、1,212人の方に回答をいただきました。ご協力、有り難うございました。

### 夜間延長の是非について

- 費用をかけても延長すべき
- 今ままでおり
- むしろ縮小した方がよい

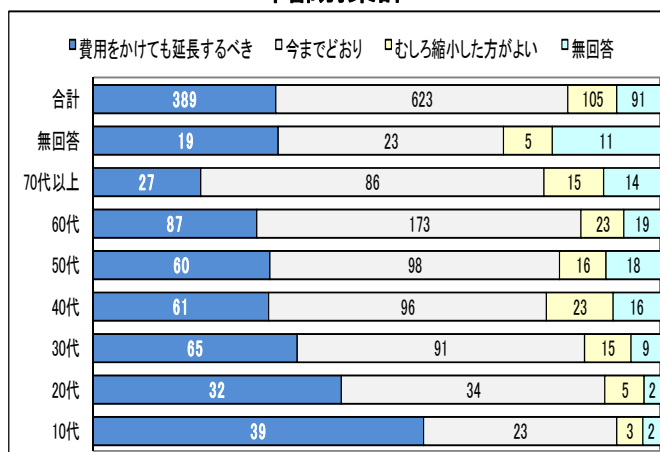


回答いただいた方の35パーセントが、延長に賛成でした。

これは多いのか少ないのか、判断が難しいところ。今までのとおり」と回答した方の中にも、「延長時間にどれだけ利用したかによって考慮してはどうか？」「広く地域住民の利用者の意見をお聞きになって。」などの声が目立ちます。

賛成の理由が「より便利になるから」なのか「この時間でないと利用できないから」なのか、設問に入らなかったことは反省点です。

### 年齢別集計



年齢が下がるほど延長を希望する割合が上がる。  
約6割の方が「自由意見」に記入。  
なお回答の約半分は本館の利用者。

現在、内容について分析中です。

多摩市立図書館ホームページに、単純集計の結果や分析の途中経過などを掲載しています。順次更新しますのでご覧ください。

（図書館ホームページその他のトピックス）

なお、「自由意見」をお書きいただいた方の中で、更にご意見を伺いたい方がいます。詳しくは館内のポスターをご覧ください。思いあたった方、宜しければお申し出いただけますようお願いいたします。



また現在、平成23年2月開館予定の（仮称）唐木田図書館の運営に関するアンケートを行なっています。こちらもぜひご回答ください。

こんなお言葉も職員の励みです。  
回答者は40代女性

Q:30代で図書館で読書目的で来るとして「自由意見」に記入



低めに設計されたシニアコーナーの書架。下段の低い棚や、一般書架の高い棚など、手に取りにくい本がありましたらお気軽に声をおかけください。

本館の玄関を入って一般カウンターの隣、茶色の柱の部屋にシニアコーナーがあります。平成20年のオープン当初からシニア向けの雑誌や図書、大きな活字の本などを置いていましたが、このコーナーをリニューアルしました。  
「資産運用」「健康・からだ」「退職の手続き」「住まい・リフォーム」などの本を増やし、テーマごとに並べて手に取りやすくしました。また、本だけではなく、年金や就職等のちらしやパンフレットも充実しました。  
どうぞご利用ください。

本館  
シニアコーナーが  
新しくなりました！



『大人の友情』 河合隼雄著 朝日新聞社 2005

お互いに理解し合えた、心が通じ合ったと感じる時、あたたかい気持ちになります。

何でも話せる、話してホッとしたり、慰められたりする友だちが一人でもいると幸せです。だけど、友だちとの関係を良好に続けていくのは簡単ではありません。”男女間に友情は成立するのか”“友人の出世を喜べるか”など深いテーマですが、気楽に読める1冊です。



こころがホッとする  
こころがあたたかくなる  
こころが熱くなる  
そんな本の紹介です！



『阪急電車』 有川浩著 幻冬舎 2008

さまざまな人々が、それぞれの思いを抱えながら日常を暮らしている。ここに登場するのは、阪急電車の今津線に乗車する人たち。同じ図書館を利用する男女、元彼の披露宴に出席した美女、元高校教師の老婦人と孫娘、年上の彼氏の話をする女子高生、DVの彼との別れを決意する彼女・・・。

つい自分も同じ車輦に乗り合わせている気になり、笑いをこらえたり、怒りを覚えたり、ほのぼのとしたりする。人は自分でも気づかないうちに誰かの言葉に救われたり、誰かを救ったりして今があるのかもしれない。読後には爽快感とともに、温かいものが胸に残るはず。

なお、登場人物に中高年男性がいないことに物足りなさを感じる方は、『三匹のおっさん』（同著 文藝春秋 2009）もどうぞ。



『ちょっとネコばけ』 岩合光昭写真・文 小学館 2005

『ニッポンの猫』 岩合光昭写真・文 新潮社 2000

ご存知、動物写真家の岩合光昭氏の写真集です。

人とのつながりの中で暮らす町ねこ・野良ねこがたくさん載っています。

日本各地の風土や人々を紹介した岩合氏の文章、モデルになった猫との無言のやりとり／アイコンタクト、すばらしいシャッターチャンスをとらえた写真に思わずニヤリ！ 写真1枚にホッとさせられる、心温まる本です。

忙しい毎日を送っておられる方にこそ、ぜひお勧めします。



『凍てる岩肌に魅せられて』 小西政継著 中央公論社 1998

日本の山で岩登りや冬山を経験した者にとって、ヨーロッパアルプスの三大北壁やヒマラヤ8000m峰は、究極の目標であり、憧れの対象です。そんな峰々を、1960～70年代にかけて燃える情熱と闘志をこめて登攀した最強の登山家が、この本の著者、小西政継です。彼は下町の先鋭的な社会人山岳会に所属する、印刷会社で働く労働者でしたが、登山家として優れているだけでなく、作家としての才能にも恵まれ、素晴らしい登山の記録図書を残しています。

この本は1978年から日本の山の古典的名著を発行してきた中公文庫の一冊で、小西が33歳の時の作品です。生い立ちの話から数々の栄光の登山記録、結婚する時までの“山”に関する自叙伝です。岩壁登攀の経験がない方でも読みやすい内容になっています。同文庫の小西の著書は、他に「マッターホルン北壁」「グランドジョラス北壁」「山は晴天」があります。特に2つの北壁の記録は、わかりにくい山の専門用語は出てきますが、小西の文才は読む者を虜にしています。

その小西もヒマラヤ8000m峰をめざす者の宿命か、1996年のマナスル登山で下山中に帰らぬ人となり、私も植村直己の遭難以上のショックを覚えました。遭難後に出版された、彼の妻 郁子さんの著書『小西さんちの家族登山』（山と溪谷社）は、良き夫・良き父であった小西の素顔がよくわかる本です。合わせて読んでいただければと思います。

# 市民ボランティアさんにインタビュー！ Part 2



看板や名札、季節を感じる木のタペストリーは  
すべてボランティアさんの手作りです☆

↓ どの赤ちゃんも、絵本に視線がくぎ付け！



「赤ちゃんは大好きな人の声を聞くことで、  
大切な心が育つ」と絵本の読み聞かせの意味を  
優しく伝えていきます。

「赤ちゃんって絵本が分かるんですか？」という  
質問に、「ほらっ、見てるでしょ、一緒に楽しむ  
ことが重要よ」と、ボランティアさん。



ボランティアさんから、子育て中の方へ  
メッセージをいただきました。

赤ちゃん時代は思っているより短いです。抱っこ  
で解決するのはこの時だけ。忙しいでしょうけど、  
少しの時間を見つけて、ぜひ絵本を見せながら語  
りかけてください。幸せなひとときですよ！



## つぎも一緒に読んであげよう

連続講座から 楽しいうたを紹介します

「じーかいて ぽん」

まず、お子さんの手のひらを上に向けま

す。「じーかいて」とゆっくりうたいながら、お子  
さんの手のひらに指で丸を書き、「ぽん」でスタン  
プを押すように、真ん中をつつきます。

最初はきょとんとされてしまうかも知れませ  
ん。しかし、わらべうた・となえうたの魔法は繰  
り返しによって発揮されます。とびきりの笑顔で  
ぜひ何度もうたってあげてください。お母さんは  
もちろん、ご家族のみなさんで繰り返し遊んでい  
る内に、ぐずっていた子も笑顔になる、そんな魔  
法の呪文になるに違いありません。

次にご紹介するのは、お子さんが面白いほどリ  
ラックスするわらべうたです。最近ベビーマッサ  
ージがはやっていますが、日本では昔から自然に  
行われてきました。

まず、お子さんを仰向けに寝かせます。

両手でお子さんの頭を包むようになでながら

「のーびのーびのび」

肩から腕、指の先までをさするように

「のーびのーびのび」

胴全体をゆっくりとなでおろすように

「のーびのーびのび」

腰から足先まで「のーびのーびのび」

ゆったりとやさしい節をつけて、繰り返し触れ  
てあげてください。